

< もくじ >	
1. 本年度連続講座第2回・第3回の概要と受付のお知らせ	1
2. 第3回シンポジウム「あれから5年～わたしたちはフクシマを忘れない～帰還を巡る諸問題」開催のお知らせ	2
3. 研究会からのお知らせ	2～3
4. 各研究会の概要報告	3

1. 本年度連続講座第2回の概要と受付のお知らせ

本年度講座第2回の開催概要をお知らせいたします。お申し込み受付中です。

◆第2回講座は、今週末の2016年10月22日(土)開催です。◆

講演テーマ：「がんから100キロマラソン復帰」

講師：大久保淳一（5 Years 代表）

（講演要旨）

高齢化社会の中でいつまでも元気で活躍し、自分らしく生きていきたい。そう願う私たちは、どんな準備と心構えをしたら良いのでしょうか。今回は、米国系投資銀行 ゴールドマン・サックス社に勤務していた42歳の時、精巣がんを患い、その後10カ月に及び入院治療を経て復職、さらに100kmウルトラマラソンに復帰し、がん発症前の自己記録を更新した大久保淳一さんをお招きします。大久保さんは、現在、がん患者支援活動 NPO 5years を運営し、がん患者とがん経験者をつなぐ活動をされています。モットーの『人生には、いつでも、何度でも、チャンスがあります！人生、80歳でピークを迎えよう』という元気が出る感動的なお話を伺います。

次号発行前の開催となる第3回の概要をお知らせもいたします。

◆第3回講座は、2016年11月12日(土)開催です。◆

講演テーマ：「老婚の光と影」

講師：板本洋子（NPO法人 全国地域結婚支援センター代表）

<講演要旨など、ご案内につきましては近日中に別途お知らせをさせていただきます。>

※全6回については既にお送りしましたチラシかホームページをご参照ください。

※各回とも、場所など開催要領は下記要領で共通となっております。

- 1) 場所：東京銀座・資生堂 9Fホール（第3回のみ、8Fに変更となります）
- 2) 開催要領：各回とも14時～16時の開催（開場は13時30分）。募集人数は最大45名。各回の参加費は、会員2500円、非会員3000円。

※お申し込みは、①氏名、②参加の講座、③連絡先を明記し、eメール、FAXで事務局まで。

※各回参加費は、当日、会場にてお支払いください。

※今後とも各回ごとにJAAS Newsなどで随時お知らせいたしますが、ご家族やご友人などにもお声掛けをお願いいたします。多数の方のご参加をお待ちしております。（事務局担当 鈴木）

2. 第3回シンポジウム「あれから5年～わたしたちはフクシマを忘れない～帰還を巡る諸問題」開催のお知らせ

東日本大震災発生から5年半が経過し、避難元地域では帰還政策が進められています。避難者は、「強制避難者」から「帰郷者」となるのか、「自主避難者」となるのか、あるいは「移住者」となるのか、選択を迫られます。他方では、表面的には何らかの判断を下しながらも、避難元であるふるさととどのようにつながっていくべきか、つながっていけるのかという心の葛藤も生まれます。今回のシンポジウムでは、帰還を早めて早期に避難元地域を復旧しようとする動きのなかで、住民を取り巻く状況とそこで生じる課題に焦点をあて、福島の実状について理解を深めるとともに、われわれができることについて一緒に考えていきたいと思ひます。当事者あるいは支援者として活動されている3名を報告者にお迎えし、それぞれの取り組みをご報告いただきます。

1) 日 時：2016年11月19日(土) 14:00～17:00

2) 場 所：早稲田大学戸山キャンパス 33号館低層棟6階第11会議室
(地下鉄東西線早稲田駅より徒歩5分)

3) 申込み方法：氏名・連絡先を明記し、メール(jaas@circus.ocn.ne.jp)または電話&FAX
(03-5778-4728)にてシニア社会学会事務局までご連絡ください。

4) 参加費：無料

共催：一般社団法人シニア社会学会「災害と地域社会」研究会・早稲田大学総合人文科学研究センター<現代社会の危機と共生社会創出に向けた研究>部門

◆司会

長田攻一(シニア社会学会理事、「災害と地域社会」研究会座長)

川副早央里(早稲田大学文化構想学部現代人間論系助手)

◆報告者

遠藤義之(観陽亭代表、いわき地区広域自治会「さくらの会」事務局)

高坂 徹(「かながわ避難者と共にあゆむ会」副理事長)

多田曜子(やまがた復興ボランティア支援センター事務局)

◆コメンテータ

浦野正樹(早稲田大学教授、早稲田大学人文科学総合研究センター<現代社会の危機と共生社会創出に向けた研究>部門代表)

松村 治(早稲田大学地域社会と危機管理研究所研究員)

伊藤まり(福島県浪江町民)

3. 研究会からのお知らせ

(1) 第34回「災害と地域社会」研究会開催のお知らせ

1) 日 時：2016年10月26日(水) 18:00～20:00

2) 場 所：早稲田大学戸山キャンパス 39号館6階第7会議室

3) 報告者：松村 治(早稲田大学地域社会と危機管理研究所研究員、当学会会員)

4) テーマ：「心のケアからのパラダイムの転換 ―福島からの避難者に対する支援のあり方―

5) 参加費：500円(ただし、社会人を除く学生、早稲田大学総合人文科学研究センター<現代の危機と共生社会>研究部門および、早稲田大学プロジェクト研究所のメンバーは無料)

※お問い合わせは、福原(fukuhara@jaas.jp)迄お寄せ下さい

(2) 第37回「シニア社会のリテラシー」研究会開催のお知らせ

- 1) 日 時：2016年10月27日(木) 15:00~18:00
 - 2) 場 所：早稲田大学国際会議場4階第6共同研究室
 - 3) テーマ：安田和紘コーディネーターのレクチャー：「生き心地の良い社会を目指して」
 - 4) 参加費：300円
- *お問い合わせは、事務局・島村 (ken-sima1941@jcom.home.ne.jp) 迄お願い致します。

(3) 第2回「北海道部会」開催のお知らせ

- 1) 日 時：2016年11月21日(月) 18:00~19:30
 - 2) 場 所：札幌市中央区南大通ビル2階会議室
 - 3) テーマ：“高齢者の自立(自尊)を啓発すべく来春開催予定の市民講座、へ向けた意見交換”。
 - 4) 報告者：第1回の意見交換を深め具体化するため、参加者全員
- *お問い合わせは、北海道部会・竹川勝雄 takekawa@f7.dion.ne.jp 迄お願いします。

(4) 「シニアのICT活用研究会」の開催について

次回以降の研究会開催は調整中であり、決まり次第あらためてお知らせします。

4. 各研究会の概要報告

(1) 第33回「災害と地域社会」研究会の報告

- 1) 日 時：2016年9月27日(火) 19:00~21:00
- 2) 場 所：早稲田大学戸山キャンパス 39号館6階第7会議室
- 3) 報告者：遠藤 健(早稲田大学大学院文学研究科教育学コース博士課程)
- 4) テーマ：「福島県の高校生の進路選択ー地域に残る、戻るのは誰かー」

教育社会学・高等教育論を専門とする遠藤 健さんは、持続可能な地域社会の在り方を考えるという視点から、地域の高校生の進路選択に関する研究を進めておられます。とくに、教育機会の地域間格差、地域移動に影響を与える要因としての社会関係資本、親の地域移動の効果などに注目して、2015年に、高校生の大学進学希望、卒業後の20代の希望勤務地などに関する大量観察調査を実施しました。また、遠藤さん自身が福島県白河市出身でもあることから、今回は福島県内の高校27校の3年生4668名のデータを収集し、分析を行った結果を報告されました。大学収容力、進学率の2軸で、全国の他県と福島県の位置を比較すると、福島県はいずれの指標でも低い位置にあることを踏まえ、高等教育進学者の地域移動パターンを類型化し比較しておられます。大学進学者は県外流出者(30.3%)の割合が高く、専門学校進学者(30.1%)と短大進学者(48.1%)は、県内周流者の割合が高いことが分かったということです。また、進路選択で最も影響を受けたもの・人を調べた結果では、オープンキャンパスの割合が高かったこと、影響を受けた人では父と母であったことが特筆されます。また、県外への移動の先行者(きょうだいや親せきなど)や親の地域移動経験および社会関係資本が子どもに影響を与えることがわかりました。参加者からは、震災の影響などはなかったのかという質問が出ましたが、今回の調査結果には表れていないということでした。(長田記)

(2) 第1回「北海道部会」の報告

- 1) 日 時：2016年10月3日(月) 18:00~19:30
- 2) 場 所：札幌市中央区南大通ビル2階会議室
- 3) テーマ：“高齢者の自立(自尊)を啓発すべく来春開催予定の市民講座、へ向けた意見交換”。
- 4) 報告者：竹川勝雄北海道部会顧問から“高齢者の自立(自尊)”の現状観察と、改めて啓発する意義について報告の後、シニアの実像として社会を支える、一歩踏み出す意識等を共有するための意見交換に入った。報告は8名のほか部会関係者5名。
 - ・ 講座内容への発言では、“自立は仏教の教えであり恒に不可欠ー巖城札幌大谷大学学長”、“自

己決定が制約される介護される状況は不可避—村山包括支援センター長”等多くの発言があった。

- 講座開催の発言では、“関心を持っていない人への働きかけ—篠田市議員”、“こうしないと、こうなりますという組立てが講座参加者の納得に繋がる—菊地北星学園大学大学院研究員・介護施設職員”等多数の発言があった。

一般社団法人シニア社会学会・事務局（月・水・金オープン）

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-15-5 パールビル4階

電話&FAX：(03) 5778-4728

eメール：jaas@circus.ocn.ne.jp URL：<http://www.jaas.jp/>